

令和8年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	① 科学技術教育に関する感性を醸成させ、幅広い教養・技能・技術を身に付けさせる。 ② 生徒一人ひとりに見合った指導を工夫し、全ての生徒が等しく学習者として参加できる体制を整える。	①科学技術教育に関する幅広い教養・技能・技術を、実習の授業を中心に学校生活全般で身に付けさせる。 ②5つの「系」間で、専門分野以外の学習内容に触れる機会を設け、幅広い視野と高い技術を身に付けさせる。	①実習や探究活動を通して、学習内容と科学技術を結び付け、知識を自分事として捉えさせる。また、資格取得等を通して、幅広い学びを体験させる。 ②インターンシップや出前授業などを通じて、幅広い視野を身に着けさせる。	①実習や探究活動の取組みから技能・技術を身に付けることができたか。また、資格取得を向上させることができたか。 ②インターンシップの参加率の向上と出前授業や外部講師の講話から、幅広い視野を身に付けることができたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	① 基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会のルールを順守できる人材を育成する。 ②支援が必要な生徒を適切な機関につなげる支援体制を構築する。 ③ 部活動や委員会活動を活性化させ、責任感やコミュニケーション能力などの人間性を育む。	①基本的生活習慣を確立させ、社会のルールを順守できる生徒を育成する。 ②支援が必要な生徒がいつでも相談できるように相談体制を構築する。 ③情報発信や勧誘活動を工夫しながら、部活動や委員会活動を活性化させ、生徒の参加を促す。	①日々の指導や月1回行われる校内外指導を通して、基本的生活習慣を確立させるよう丁寧な指導を行っていく。 ②教員だけでなく、SC やSSW、外部とのつながりを大切にし、学校全体で支援できる支援体制を構築する。 ③新入生が、本校の部活動にしっかりと接する機会を設ける。新入生オリエンテーションでの、部活動の説明に生徒のアイディアを取り入れる。部活動体験の時間を設け、生徒が必ず複数の部活動に触れられるようにする。活動ができる委員会では、生徒が積極的に活動できる機会を設ける。	①社会でも通じる礼儀や身だしなみを整えているか。また、法令を遵守し交通マナーを守って登下校できているか。 ②サポートドック等のアンケート結果や保健室へ来る生徒の不安感を面談等を通して少しでも軽減することができたか。 ③部活動の活発化の指標は、部活動の加入率である。昨年度の加入率 30%を超え、50%の生徒が部活動に所属したか。委員会は、すべての委員会が複数回の委員会を開催したか。					
3	進路指導・支援	① 生徒が主体的に進路決定に向き合えるように入学時から段階的に進路指導の充実を図る。 ② 上級学校への進学を見据えたキャリア教育を実践する。	①学校生活の様々な機会を利用して、就職および上級学校への進学を視野に入れたキャリア教育を実践し、本校の魅力・特色として学校外にも情報発信する。 ②就業体験の機会を設ける。上級学校・企業等との連携を図る。	①各種ガイダンス等を前年度より前倒しし、進路決定へのプロセスをイメージさせる。学校説明会等の広報活動では、本校のキャリア教育の充実ぶりを発信する。 ②2学年でインターンシップを実施する。本校で学んでいる専門知識を活かせるような企業の開拓をする。上級学校・企業などからの出張授業や見学会を立案し実施する。	①就職・進学達成率が100%であったか。各種ガイダンス時に、生徒アンケートを取り、どのように有効であったかを検証する。 ②持続可能なインターンシップが実施できたか。上級学校・企業等からの出張授業や見学会を実施することができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	① 工業系専門高校として、ものづくり体験教室を始め、文化祭、学校へ行こう週間等での地域への公開で開かれた学校づくりを進める。 ② 保護者や地域社会との協働により開かれた学校づくりをめざす。	①本校の魅力・特色を地域や中学生にわかりやすく伝え、地域への情報発信を強化する。 ②PTAや地域・企業等との連携を拡充し、教育活動の推進に取り組むと共に、ものづくりなどを通じて地域に貢献する。	①学校ホームページやSNSを通して本校の取組を積極的に発信する。また、学校説明会や部活動体験など中学生や保護者が本校の活動を理解できる場面を数多く設定する。 ②PTAや地域、企業等と連携した取組の実施とその情報発信を積極的に実施する。	②積極的に情報発信をすることで、学校説明会や部活動体験、入試の倍率など昨年度よりも多い人数の中学生に興味を持ってもらえたか。 ②連携した事業の実施状況とその実績が充実し、実施した取組への参加者数が増加につながったか。					
5	学校管理 学校運営	① 職員の働き方改革を推進し、事故・不祥事が起こらない職場環境を創造する。 ② 防災意識を高め、防災力を上げる。地域の防災拠点としての充実を図る。	①不祥事防止研修を職員主体で実施するとともに、職員の働きやすい職場環境を構築する。 ②教育課程の中で、実践的に取り組むことができる防災教育の充実と意識の向上に努める。	①不祥事防止を自分事として考えながら手立てを講じる。保護者や地域の理解を得ながら、学校の働き方改革を加速化させる。 ②自治体等と連携し、災害時の避難経路や避難方法を生徒へ周知しながら学校の実態に即した避難訓練を実施する。学校が避難場所として使用される際の効果の検証を進める。	①効果的な手立てを考え実践することができたか。職員の業務負担を軽減させ生徒と向き合う時間を確保することができたか。 ②防災に関する知識を習得し、災害時への対策や意識を前年度よりも高めることができたか。					